

# 一般社団法人日本地質学会2010年度総会記事

## 議事録

以下のとおり、定時社員総会を開催した。

日時 2010年5月23日(日) 18:45-19:45  
会場 幕張メッセ国際会議場 304会議室

総会開始にあたり、議長・副議長、書記として、本日出席代議員の中から以下の方々を選出した。

議長：Simon Wallis；副議長：中澤 努；  
書記：延原尊美・古川竜太

議長より、本総会の1号議案から3号議案までは2009年度の役員・代議員によって審議することと、現時点での代議員出席者数は、委任状・議決権行使書を含め107名で、定款所定の定足数(72名)をこえる出席者があるので成立している旨宣言し、議事に入った。

### 1号議案 2009年度理事会報告

渡部常務理事から2009年度の理事会報告があり、特に質疑なく、賛成多数で本議案を承認した。

### 2号議案 2009年度事業・決算報告

会計担当の向山執行理事から報告と説明があった。

また、青野監事より、2009年度の会計については、適切に処理されていることを確認した旨の会計監査報告があった。租税公課についての質疑応答の後、賛成多数で本議案を承認した。(P.12-13参照)

### 3号議案 代議員および理事、監事選挙報告

松田達生選挙管理委員長から、代議員125名および理事49名、監事2名(会員1名および外部から1名)の選挙結果報告があり、特に質疑なく賛成多数で本議案を承認した。

<約10分間の休憩>

議長より、本総会の4号議案から7号議案までは2010年度の役員・代議員によって審議することと、現時点での代議員出席者数は、委任状・議決権行使書を含め104名で、定款所定の定足数(63名)をこえる出席者があるので成立している旨宣言し、議事に入った。

### 4号議案 代表理事(会長)・監事・執行理事の選出

2010年度第1回の理事会において以下のとおり選出したことが報告され、特に質疑なく賛成多数で本議案を承認した。

会長(代表理事) 宮下純夫  
副会長 久田健一郎・渡部芳夫

執行理事 石渡 明・井龍康文・小嶋智・斎藤 眞・坂口有人・高木秀雄・内藤一樹・中井 均・西 弘嗣・平田大二・藤林紀枝・藤本光一郎・星 博幸・向山 栄 山口耕生  
監事 青野道夫・山本正司

### 5号議案 2010年度事業計画

2010年4月1日付をもって日本地質学会からの事業を継承したことに基づく、2010年度の事業計画について宮下会長から説明があった。法人としての事業に対する基本的姿勢について質疑応答の後、賛成多数で本事業計画案は承認された。(P.15参照)

### 6号議案 2010年度予算

会計担当の向山執行理事から、2010年度の前算案について詳細な説明があった。とくに年会事業の収支には、今年度から懇親会および見学旅行の収支を加えること、また、人件費、事務所費などをはじめとする管理費については、事業ごとの管理費ともなるので、必要に応じて案分比例して折り込んだことなどが説明された。

事業収益については法人化のメリットを活かすべきとの意見や、交通費の質問など、質疑応答の後、予算案は賛成多数で承認された。(P.14参照)

### 7号議案 名誉会員の選出

名誉会員推薦委員会委員長より、名誉会員候補者としては4名の推薦があり、委員会は全員を候補者として選出したが、坂幸恭会員が逝去されたので、3名の会員を候補者として理事会に提案し承認されたこと、各候補者の推薦理由などが説明された。

これについては、物故者の業績や貢献を顕彰することについての意見が出たが、規則や名誉会員の定義等についても検討する必要があることであり、現状ではNews誌等での紹介等で応えてはどうか、との応答があった。

その後、町田 洋会員・石原舜三会員・藤田 崇会員の3会員を名誉会員とすることを賛成多数で承認した。(P.16-17参照)

2010年5月23日

## 2009年度事業経過報告

### 1. 報告事項

1) 学会運営に関する諸集会及び委員会等の活動

<2009年度定時総会>

日時：2009年5月17日 18:55-19:30

会場：幕張メッセ 国際会議場 302会

### 議室

議決権のある当法人社員総数 146名  
総社員の議決権の数 146個 出席社員数(委任状および議決権行使書提出者を含む) 101名、  
議決権の総数 101個、出席理事 36名、出席監事 1名  
審議事項：1) 理事会報告、2) 2008年度事業・予算計画と決算報告、3) 2009年度事業計画・予算案、4) 追加議案2009年度の役員について  
いずれの議案も拍手をもって承認。

<委員会等の開催>

・執行理事会(12回) 議事内容、報告等については、随時HP、ニュース誌に掲載

・理事会(3回) 議事内容、報告等については、随時HP、ニュース誌に掲載

・その他委員会：各賞選考委員会(選考検討委員会、アイランドアーク賞選考委員会を設置し、該当賞の選考を諮問)、名誉会員推薦委員会、選挙管理委員会など、メールによる会議を含め、随時開催。

2) その他報告事項(主なもの、そのほかはNews誌、HPに掲載の執行理事会議事録、理事会議事録参照)

<特に他学協会との共催・後援、協賛行事、開催年月日に関りなくこの期間に依頼のあったもの>

・青少年のための科学の祭典2009(科学技術振興財団主催、2009/08)の後援。  
・2009地球環境保護 土壌・地下水浄化技術展(土壌環境センター、日本産業機械工業会、産業洗浄協議会、フジサンケイビジネスアイ他主催、9/16-18)の協賛。

・朝日新聞社「第7回ジャパンサイエンス&エンジニアリングチャレンジへ(JSEC 2009)」の後援。

・第35回リモートセンシングシンポジウム(11/5-6、日大文理学部)の協賛

・新潟大学理学部より「糸魚川ジオパーク展」(9/11-11/29、新潟大学旭町学術資料展示館)の後援。

・21世紀の地学教育を考える大阪フォーラム実行委員会より「第10回子供のためのジオカーニバル」の後援。

・IYPE日本委員会への2009年度の協賛(協賛金25万円)。

・「北淡国際活断層シンポジウム2010」(2010年1/17-21日、淡路市、実行委員長中田高)の後援。

・産総研地質調査総合センターから、「地質情報展2010とやま」の共催。

- ・学術会議INQUA分科会, IUGS分科会より, 公開シンポジウム「第四紀の時代—人類は残った」の共催.
- ・地震火山こどもサマースクール (地震学会・火山学会主催) の共催.

## 2. 執理事務会および理事会議決・承認事項

- 1) 執理事務の担当について学術研究と公益事業の強化のために, 学術研究部会と社会貢献部会を増員

運営財政部会 (2名): 総務・会計, 広報部会 (2名): 広報, 学術研究部会 (3名): 行事・国際交流・研究交流, 編集出版部会 (3名): 地質学雑誌・Island Arc・企画出版, 社会貢献部会 (3名) 教育・継続教育・アウトリーチ

- 2) 選挙管理委員会委員の選出  
委員長: 松田達生, 委員: 太田 亨, 川上俊介, 川村喜一郎, 中島 礼
- 3) 選挙細則および選挙管理委員会規則を承認した.
- 4) 法人代議員・役員選挙の実施について, 選挙システム・選挙スケジュールの承認.
- 5) 公益法人化を急がず, 当面は一般社団法人としての運営をしていくことを承認.
- 6) 各賞選考規則と選考委員会規則の承認.  
任意団体の規則を継承し, 各賞選考委員会規則に選考検討委員会と利益相反防止の項目を追加.
- 7) 各賞選考委員会委員の設置 (前年度任意団体の委員が留任)  
委員長: 中川光弘, 委員: 高橋正樹, 滝田良基, 渡辺真人, 村山雅史, 吉川敏之, 卜部厚志, 北里 洋, 高木秀雄, 堀 利栄, 職責委員: 現, 前, 正副編集委員長 (アイランドアーク含む): 狩野謙一, 宮下純夫, 久田健一郎, 小嶋 智, 岩森光, 石渡 明, Simon WALLIS, 井龍康文, 前川寛和
- 8) リーフレット出版細則 (一般リーフレット, 国立公園地質リーフレット, たんけんシリーズ) を策定.
- 9) 法人移行に伴う支部の会計については, 本部会計と一本化することとした.
- 10) 名誉会員推薦委員会規則は任意団体の規則を継承し, 名誉会員推薦者に支部を加えることとした.
- 11) 名誉会員推薦委員会の設置: 委員長; 佃栄吉副会長  
各支部長 (5名): 宮坂省吾 (北海道), 大概憲四郎 (東北), 伊藤省生 (関東), 原山 智 (中部), 宮田隆夫 (近畿), 白井 朗 (四国), 大木公彦 (西日本), 階層別委員 (4名): 大学: 岡村 真, 小中高: 紺谷吉弘, 官公所: 植村和彦, 会社: 足立勝治, 執理事務会 (1名): 石渡 明
- 12) 利益相反防止, 個人情報保護, 除名の3規則, および倫理綱領の施行日は次の通り.  
・一般社団法人日本地質学会利益相反防止規則 2009年10月3日 (任意団体の規則

を継承し修正, 利益相反自己申告書等の管理・保管期間を5年と明示)

- ・一般社団法人日本地質学会個人情報保護に関する規則 2009年12月1日
  - ・一般社団法人日本地質学会除名規則 2009年12月1日
  - ・一般社団法人日本地質学会倫理綱領 (任意団体のものを継承) 2009年12月1日
- 13) 会計処理規則の承認.
- 14) 代議員選挙の開票立会人を2名選出, 佐野貴司, 竹内圭史
- 15) 日本地質学会賞および国際賞, 小澤賞の選考について, 選考検討委員会を設置し選考を諮問した.  
委員長: 榎並正樹, 宮下純夫, 木村 学, 島海光弘, 石渡 明, 磯崎行雄, 久田健一郎, 狩野謙一, 井龍康文, 前川寛和, Simon WALLIS, 理事会推薦者 (2名) 倉本真一, 公文富士夫  
・Island Arc賞については, Island Arc編集委員会に選考を諮問した.
- 16) 次の12名の会員を50年会員として顕彰することとした.  
磯部重光 遠藤淳二 大原 隆 加藤祐三 蟹江康光 蟹沢聰史 柴山弘之 富沢昭文 降旗和夫 満岡 孝 宮崎 浩吉 田 尚\* (\*在会52年, 名誉会員のため検索漏れ)
- 17) 2010年度事業計画および任意団体日本地質学会から会員と事業の全てが当法人に移行されるものとして, 任意団体地質学会からの譲渡財産および当法人の財産に基づく2010年度予算案を承認した. 【5号議案, 6号議案】
- 18) 名誉会員推薦委員会から提案された下記の3名の会員を総会に推薦することとした. 【7号議案】  
町田 洋会員 石原舜三会員 藤田 崇会員
- 19) 2009年度事業報告を承認した. 【2号議案】
- 20) 各賞選考委員会より提案された下記の各賞受賞者を承認した. (推薦文は1号議案 P.17参照)  
・日本地質学会国際賞 (1件)  
Juhn G. Liou (米国スタンフォード大学名誉教授)  
対象研究テーマ: 低温高圧・超高压変成作用の研究と日本の地質学界への貢献  
・日本地質学会 Island Arc賞 (1件)  
授賞論文: Fu-Yuan Wu, Jin-Hui Yang, Ching-Hua Lo, Simon A. Wilde, De-You Sun and Bor-Ming Jahn, 2007, The Heilongjiang Group: A Jurassic accretionary complex in the Jiamusi Massif at the western Pacific margin of northeastern China. Island Arc, 16, 156-172.  
・日本地質学会小澤儀明賞 (1件)  
後藤和久 (現: 千葉工業大学惑星探査研究センター)

対象研究テーマ: 地質学的手法による津波・高波災害履歴と規模の推定に関する研究

### ・日本地質学会論文賞 (2件)

Sugawara D., Minoura K., Nemoto N., Tsukawaki S. Goto K. and Imamura F., 2009, Foraminiferal evidence of submarine sediment transport and deposition by backwash during the 2004 Indian Ocean tsunami. Island Arc, 18, 513-525.

宮田雄一郎・三宅邦彦・田中和広, 2009, 中新統田辺層群にみられる泥ダイアピル類の貫入構造. 地質学雑誌, 第115巻, 第9号, p 470-482.

### ・日本地質学会研究奨励賞 (3件)

佐藤雄大 (国交通省国土地理院測地部)  
対象論文: 佐藤雄大・鹿野和彦・小笠原憲四郎・大口健志・小林紀彦, 2009, 東北日本男鹿半島, 台島層の層序. 地質学雑誌, 第115巻, 第1号, 31-46.  
大橋聖和 (広島大学大学院理学研究科地球惑星システム学専攻)

対象論文: 大橋聖和・小林健太, 2008, 中部地方北部, 牛首断層中央部における断層幾何学と過去の運動像. 地質学雑誌, 第114巻, 第1号, 16-30.

川上 裕 (石油天然ガス・金属鉱物資源機構)

対象論文: 川上 裕・星 博幸, 2007, 火山一深成複合岩体にみられる環状岩脈とシート状貫入岩: 紀伊半島, 尾鷲一熊野地域の熊野酸性火成岩類の地質. 地質学雑誌, 第113巻, 第7号, 296-309.

### ・学会功労賞 (1件)

杉山了三

功労業績: 地域を生かし, 生徒とともに創造する地学学習

### ・学会表彰 (2件)

山口県

表彰業績: 阿武火山群の火山灰層の保存と観察施設建設

地球システム・地球進化ニューイースクール (NYS) 事務局 (大坪誠・坂本竜彦・岡崎裕典・ほか)

表彰業績: 地球科学系の若手研究者の継続的育成活動

- 21) 5月23日開催予定の総会議案の承認.

- 22) 理事会推薦の監事候補者を承認した. 山本正司 (山本司法書士事務所所長)

- 23) Island Arc編集事務局の学会事務局への統合に伴い, Island Arc編集委員会規則を改正することを承認. 従来の編集事務局長 (2名) が副編集長 (1名) へと変更.

## 3. 代議員および役員選挙の実施

- 1) 選挙規則ならびに選挙細則に基づき, 代議員選挙, 理事および監事選挙を行った. 【3号議案】